

## 和歌山病院での研修を終えて



安村 香瑠

平成 30 年 7 月の 1 ヶ月間、国立和歌山病院の呼吸器内科で研修をさせていただきました。研修内容としては、外来診療、病棟を持たせて頂きました。

これまで外来診療の経験が少なかったため、診断のプロセスや治療方針を学ばせて頂きました。外来という時間が限られた中で、どの検査をオーダーし診断に至るか、どの順番で検査を進めれば待ち時間が最小限になり患者さんの負担が少なくなるかなど、考えなければならないことが無数にあり、慣れないうちは難しかったです。また外来では退院した患者さんを自分の外来でフォローすることができ、お元気な姿を直接確認できるのがうれしかったです。この先の研修でも経験する機会は少ないと思うので、初診から入院、その後のフォローまで全てをみさせて頂くことが出来て良い経験になりました。

病棟では結核や肺炎、肺癌、縦隔腫瘍、間質性肺炎など担当させていただきました。

病棟業務では専門的な知識をもっている看護師さん・薬剤師さんに緩和ケア、鎮痛・鎮静について教えて頂きました。指導医の先生方は困ったことや相談事があればいつも丁寧にご指導くださいました。呼吸器内科の先生だけでなく、呼吸器外科、循環器内科、血管外科、放射線科、神経内科の先生方も、コンサルトすると丁寧に対応してくださいました。資料をくださったり専門的な知識を教えて頂いたり、科の垣根を越えて専門の先生方から学ぶことが出来ました。

1 ヶ月間、和歌山病院で学んだことを今後活かしていきたいと思います。

最後になりましたが胸部レントゲン教室をしてくださった南方先生、結核の知識を教えてくださいました駿田先生、いつも相談にのってくださった川邊先生、優しく指導して下さった小野先生、厳しくも熱意ある指導をしてくださった東先生、本当にお世話になりました。コンサルトさせていただいた呼吸器外科、循環器内科、血管外科、放射線科、神経内科、小児科の先生方、病棟・外来スタッフ、クラークの皆様ありがとうございました。また生活を支えて頂いた秘書さんに感謝したいと思います。お世話になりました。